

[平成15年度設置]

志學館大学人間関係学部心理臨床学科・人間文化学科 設置に係る留意事項実施状況報告書

学校法人 志學館学園
平成20年4月1日現在

作成担当者

学校法人 志學館学園

総務部長 志^シ 賀^ガ 啓^{ケイ} 一^{イチ}

志 學 館 大 学

総務課長 福^{フク} 本^{モト} 英^{ヒデ} 司^シ

電話番号 志賀 099-254-4143

F A X 099-257-3846

電話番号 福本 0995-43-1111

F A X 0995-43-1114

目 次

1	留意事項に対する履行状況等	1
	履行状況等を裏付ける資料	6
2	情報提供に関する事項	7

1 留意事項に対する履行状況等

区 分	留 意 事 項	履 行 状 況	未履行事項についての実施計画
<p>認 可 時</p> <p>(平成14年7月30日)</p>	<p>(1) 鹿児島女子短期大学児童教育学科幼児教育学専攻の定員超過の是正に努めること。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 本学児童教育学科は、県内にある他大学（3大学）が設置している同種の学科と競合関係にあるため、入学者数の確保については、危機感をもって臨んだ。本年度の幼児教育学専攻の志願者数は、前年度より15人増加したので、定員超過率を改善するため、合格率を前年度より低く89%（前年度94%）に抑えた。しかしながら、入学辞退者が6人に留まり（前年度8人）、結果的に、定員超過率が1.86（前年度1.83）となり、前年度を下回るには至らなかった。⑮ ● 幼児教育学専攻の入学定員120人のうち推薦選考による募集人員を100人、その他試験選考等の募集人員を20人として募集し、定員超過を是正するために合格者数を可能な限り抑制した。その結果、推薦選考の入学者数の定員超過率は2.04倍と前年度より0.07改善したが、その他の選考での歩留まり率が予想外に高かったために、全体的には1.83倍となり、前年度より0.03の改善に留まった。 平成17年度は、推薦選考の合格者数を更に抑制することなどにより、定員超過の一層の改善に努力する方針である。⑯ ● 平成17年度は、18歳人口の減少、高校卒業生の就職状況の好転等により短大への志願者数の減が懸念されたが、本学の場合、懸念されたとおり前年度に比べ177人減の617人という結果になった。（入学者数は前年度に比べ108人減の502人に留まり、定員520人に対し充足率0.97となった） こういう状況を予測する中で、幼児教育学専攻の推薦選抜については、定員超過率の改善に配慮しつつ、一方、高等学校とのこれまでの信頼関係をできる限り維持することにも留意して合格者を決定した。その結果、入学者数は199人で、前年度に比べ4人減となり、また、その他の選抜方式による入学者数を合わせた幼児教育学専攻全体の入学者数は218人で、前年度に比べ2人減となり、若干ながら定員超過率の改善が行われた。今後も、定員超過率を極力、1.00に近づけるよう改善に努力することとしている。 ⑰ 	

区 分	留 意 事 項	履 行 状 況	未履行事項についての実施計画
		<p>● 平成18年度は、18歳人口の減少および引き続き高校卒業生の就職状況の好転等により短大への志願者数の減が懸念されたが、本学の場合、前年度に比べ52人増の669人という結果になった。(入学者数は前年度に比べ27人増の529人となり、定員520人に対し充足率1.02となった)。昨年度に比べ志願者数が増加した原因は、本年度から導入した大学入試センター試験の効果によるものと思われる。</p> <p>こういう状況を予測する中で、幼児教育学専攻の推薦選抜については、引き続き定員超過率の改善に配慮しつつ、一方、高等学校とのこれまでの信頼関係をできる限り維持することにも留意して合格者数を決定した。その結果、入学者数は189人で、前年度に比べ10人減となり、また、その他の選抜方式による入学者数を合わせた幼児教育学専攻全体の入学者数は210人で、前年度に比べ8人減となり、昨年度よりさらに定員超過率の改善が行われた。</p> <p>今後入学定員の見直し等を行い、定員超過率を極力、1.00に近づけるよう改善に努力することとしている。⑱</p> <p>● 平成19年度は、18歳人口の減少及び引き続き高校卒業生の就職状況の好転等により短大への志願者数の減が懸念されていたが、予想どおり95名の減であった。(入学者数は前年度に比べ59名減の470人となり、定員520人に対し充足率0.9となった。)</p> <p>こういう状況を予測する中で、幼児教育学専攻の推薦選抜については、引き続き定員超過率の改善に配慮する一方、高等学校とのこれまでの信頼関係をできる限り維持することにも留意して合格者数を決定した。その結果、入学者数は178名で、前年度に比べ11人減となった。またその他の選抜方式による入学者数を合わせた幼児教育学専攻全体の入学者数は204名で、昨年度に比べ6人減となり、昨年度よりさらに定員超過率の改善が行われた。</p> <p>なお、幼児教育学専攻の入学定員について、平成20年度から、他学科、専攻の入学定員の一部を振り替え、120人から190人に増員する計画であり、既に文部科学大臣宛、「収容定員関係学則変更届書」を提出した。このことによって、定員超過は改善される見込みである。⑲</p>	

区 分	留 意 事 項	履 行 状 況	未履行事項についての実施計画
	<p>(2) 文学部国文学科、英語英文学科、人間関係学科については、平成15年4月1日で学生募集を停止し、在学生の卒業を待つて廃止すること。</p>	<p>(1) 例年本専攻への推薦入学志願者が多く、高等学校とのこれまでの信頼関係を維持することにも留意し合格者数を決定してきたが、毎年定員超過率の是正が指摘されていること等も考慮し、平成20年度から他学科・専攻の入学定員を削減し、児童教育学科幼児教育学専攻の入学定員を120人から190人に変更した。</p> <p>この結果、定員190人に対し204人の入学者となり、入学定員超過率は107%に改善された。⑳</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 理事会（平成14年5月24日）、教授会（平成15年2月5日）で学生募集停止及び3学科の廃止を決定し、平成15年3月10日付け志學館学園第1618号文書にて学生募集停止報告書提出済みである。㉑ ● 平成15年度に報告したとおりである。㉒ ● 平成15年度に報告したとおりである。㉓ ● 平成15年度に報告したとおりである。学科の廃止については、卒業延期者がいるため、平成19年度以降に行う予定である。㉔ ● 平成15年度に報告したとおりである。学科の廃止については、卒業延期者がいるため、平成20年度以降に行う予定である。㉕ (2) 平成15年度に報告したとおりである。学科の廃止については、英語英文学科の廃止届けを本年度提出し、残り2学科については、卒業延期者がいるため、平成21年度以降に行う予定である。㉖ 	
<p>設置計画履行状況 調 査 時 (平成16年3月9日)</p>	<p>(1) 鹿児島女子短期大学児童教育学科幼児教育学専攻の定員超過の是正に努めること。</p>	<p>(1) 前記(1)に記述したとおりである。㉗</p>	

区 分	留 意 事 項	履 行 状 況	未履行事項についての実施計画
設置計画履行状況 調 査 時 (平成17年3月30日)	(1) 鹿児島女子短期大学児童教育学科の定員超過の是正に努めること。	(1) 平成17年度における児童教育学科の合格者決定にあたっては、募集定員の83%が推薦選考であるため、高等学校との信頼関係等を考慮する必要があることなどから幼児教育学の合格者を決定したが、もう一方の初等教育学専攻の合格者数は募集定員80人に対し、第二志望等を含めて83%に留めた。その結果、入学者数は前年度の66人に比べ、11人減の55人となり、また、児童教育学科全体の入学者数は273人で、前年度に比べ13人減となり定員超過率は、1.43から1.37へ改善された。今後も、定員超過率を極力、1.00に近づけるよう改善に努力することとしている。⑰	
設置計画履行状況 調 査 時 (平成19年3月1日)	(1) 鹿児島女子短期大学児童教育学科幼児教育学専攻の入学定員超過の是正に努めること。	(1) 平成19年度は、18歳人口の減少及び引き続き高校卒業生の就職状況の好転等により短大への志願者数の減が懸念されていたが、予想どおり95名の減であった。(入学者数は前年度に比べ59名減の470人となり、定員520人に対し充足率0.9となった。) <p> こういう状況を予測する中で、幼児教育専攻の推薦選抜については、引き続き定員超過率の改善に配慮する一方、高等学校とのこれまでの信頼関係をできる限り維持することにも留意して合格者数を決定した。その結果、入学者数は178名で、前年度に比べ11人減となった。またその他の選抜方式による入学者数を合わせた幼児教育学専攻全体の入学者数は204名で、昨年度に比べ6人減となり、昨年度よりさらに定員超過率の改善が行われた。 </p> <p> なお、幼児教育学専攻の入学定員について、平成20年度から、他学科、専攻の入学定員の一部を振り替え、120人から190人に増員する計画であり、既に文部科学大臣宛、「収容定員関係学則変更届書」を提出した。このことよって、定員超過は改善される見込みである。⑱ </p>	

区 分	留 意 事 項	履 行 状 況	未履行事項についての実施計画
設置計画履行状況 調 査 時 (平成20年1月25日)	(1) 鹿児島女子短期大学児童教育学科幼児教育学専攻の入学定員超過の是正に努めること。	(1) 例年本専攻への推薦入学志願者が多く、高等学校とのこれまでの信頼関係を維持することにも留意し合格者数を決定してきたが、毎年定員超過率の是正が指摘されていること等も考慮し、平成20年度から他学科・専攻の入学定員を削減し、児童教育学科幼児教育学専攻の入学定員を120人から190人に変更した。 この結果、定員190人に対し204人の入学者となり、入学定員超過率は107%に改善された。⑩	

入学定員超過の状況

(平成20年4月20日 現在)

大学名	学科・専攻	項目	20年度	19年度	平均超過率(倍)
鹿児島女子 短期大学	児童教育学科 幼児教育学専攻	入学定員超過率(倍)	1.07	1.70	1.39
		入学定員	190	120	/
		入学者数	204	204	

2 情報提供に関する事項

<人間関係学部 心理臨床学科・人間文化学科>

① 設置認可申請書

a ホームページに公表の有無 (有) ・ (無)

b 公表時期 (未公表の場合は予定時期) (19 年 5 月 20 日)

c 文部科学省ホームページから、貴学ホームページの「設置認可申請書」掲載ページへのリンク
(承諾する) ・ (承諾しない)

② 設置計画履行状況報告書

a ホームページに公表の有無 (有) ・ (無)

b 公表時期 (未公表の場合は予定時期) (20 年 5 月 20 日)

c 文部科学省ホームページから、貴学ホームページの「設置計画履行状況報告書」掲載ページへのリンク
(承諾する) ・ (承諾しない)